

総合評価

受診施設名	西山井ノ内保育園	施設種別	保育園 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 2 年 2 月 12 日

総 評	<p>西山井ノ内保育園は長岡京市北西部に位置し、社会福祉法人京都明星福祉会が平成29年9月に0、1、2歳児を対象に開設し、平成30年4月に幼児部が加わり60名定員でスタートした保育園です。</p> <p>「笑顔で共に暮らし共に生きる」を保育理念に、「心身共に豊かな心を持ち生き生き遊び笑う子ども」を目標に信頼される保育園を目指し愛情をもって保育しています。</p> <p>京都市京北産の杉から作られたC1T（直接集成板）を使用し建てられた日本で初めての木造2階建ての園舎です。オープンスペースの保育室は明るく清潔で、自然の木の香りが漂う優しく過ごしやすい空間で、年齢を超えて子ども同士が日々関わりを持ち好きな遊びを見つけ元気に伸び伸び遊んでいます。</p> <p>開設間もない中で、園長・主任・副主任を中心に井ノ内保育園の保育を構築中で全職員が笑顔で子どもたちの心に寄り添う保育を目指し取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師を配置し、子どもの健康管理や職員の指導、環境整備に取り組んでいます。健康管理マニュアルに基づき看護師が毎朝検温し子どもの健康状態をみて回り、情報を職員間で共有し、保護者へも子どもの健康管理の啓発を行っています。 ・衛生管理マニュアルに基づき、衛生管理体制を整え子供の嗜好や食べ方を見ながら、栄養士による献立作成や調理方法を工夫し旬の食材や、季節感のある食材を使用し行事食も提供しています。 ・園長は毎朝早朝より園舎の外で「おはようございます」と気持ちのよい挨拶で子どもや保護者を迎え入れ、毎月発行する園だよりの冒頭に保育に対する思いや子どもたちの様子、色々な情報を発信し、保護者の気持ちに寄り添いながら子育てを支援しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生・ボランティアの受け入れに向けて、マニュアルを作成し、指導者を設定して職員研修を行うなど体制を整備して、積極的に取り組まれると良いでしょう。 ・食育計画や保健計画などと連動した全体的な計画を早期に編成しましょう。 ・主任・副主任・リーダーを中心に年間・月刊・週案の各指導計画を立案し、評価・反省など検証見直しをし、改善を行っていますが、保育の標準的実施方法が文書化されていません。今後は、標準的実施方法を文書化し、全ての職員が分かるように工夫されると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご注意ください】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	西山井ノ内保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	令和2年2月12日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a

[自由記述欄]

・保育園の理念、目標、方針をホームページ、入園のしおり、園の案内に記載し玄関にも掲示しています。保護者には入園式で重要事項説明書で説明し、職員には職員会議で重要事項説明書を配布し周知しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b

[自由記述欄]

・長岡京市子育て支援課と連携し市の配布資料により福祉事業全体の動向や経営を取り巻く環境を把握し地域における子どもの数も把握しています。

・法人の理事会において、事業計画や事業報告により施設の経営環境や保育内容、組織体制等の現状を分析しその結果明確になった経営課題について、職員に周知し、解決改善に向け取り組まれると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	a
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	a
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b

[自由記述欄]

・開園2年目で中・長期計画のビジョンを明確にし、数値目標や収支計画も具体的に策定されています。

・中・長期計画を踏まえて単年度の事業計画は策定されています。年度末に評価・反省が行われています。

・年度途中の開園であった為、事業計画は法人管理者で策定していますが、今後は、管理職のみでなく、職員を含めた組織全体で策定されると良いでしょう。

・保護者への説明は入園説明会や都度周知していますが、事業計画の主な内容について分かりやすく説明した資料を作成し、理解が深まるよう工夫されると良いでしょう。

	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b

[自由記述欄]

・保育の質の向上に向けて保育計画に沿って保育を実践しており、保育士は年間・月間・日々の保育の評価・反省し見直しを行っています。今後は、園全体の自己評価に繋げ評価基準に基づいて組織的に取り組まれると良いでしょう。

・園の自己評価の結果明確になった課題に対して、職員会議で検討し職員間で課題を共有していますが改善策や改善計画を立てるまでには至っていません。今後は、課題の解決を図るため、改善計画を文書化し園全体で取り組まれると良いでしょう。

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任と リーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	a

[自由記述欄]

- ・施設長は自らの役割と責任を職員に表明しています。職務分掌上不在時の権限を明確化し、職員には会議を通して年度初めに説明しています。
- ・施設長は法令順守について専門家と相談をして、園内規程等の整備に取り組んでいます。今後は、遵守すべき法令等のマニュアルをリスト化し、ファイリングや回覧を行い職員に周知されると良いでしょう。
- ・保育の質の向上を目指し職員会議や職員との個人懇談で意見を収集し、保育の質に関する課題を把握して改善に向けた取り組みを行っています。今後は、改善のための具体的な取り組みを明示されるとなお良いでしょう。
- ・法人として必要な福祉人材や人員体制に関わる計画は整備しています。今後は、中・長期計画を見据え人員体制に関する基本的な考え方や事業内容に応じて、人材確保プランを構築されるとさらに良いでしょう。
- ・施設長は各クラスにパソコンを設置し、ICT業務支援システムを活用し効率化を図るなど、業務の改善を図っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				あい	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・ 育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事 管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	b

[自由記述欄]

- ・キャリアパス研修を利用し必要な人材育成に取り組んでいます。人材の確保について中・長期計画を見据えて人材体制に関する基本的な考え方や人材体制プランを構築されると良いでしょう。
- ・法人の期待する職員像はキャリアパスと人事考課制度を明確にし職員が自ら将来を描ける総合的な人事管理の取り組みを構築されると良いでしょう。
- ・施設長は個人面談により職員の意見・意向、就業状況を把握していますが、その結果を分析し、改善に向けた取り組みをするまでには至っていません。今後は、改善計画を策定し組織的に取り組まれると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b	

[自由記述欄]

- ・組織として期待する職員像を明確にし、職員一人一人の「個人目標」を設定して、一人一人が設定した目標について年度末に個人面談をし目標達成を確認しています。
- ・キャリアパスを利用した単なる研修計画でなく、期待される職員像に向けた教育研修に関する基本姿勢や基本方針を明確にし研修計画を策定されると良いでしょう。
- ・実習の要望依頼があれば受け入れる体制は整えています。実習生受け入れマニュアルや実習プログラムを策定されると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a

[自由記述欄]

- ・ホームページで園の理念、基本方針、自園の事業活動の実施状況や財務諸表を公表し運営の透明性の確保に努めています。地域の自治会へは園だよりなどで発信されると良いでしょう。
- ・透明性の高い適正な経営・運営を行うため、公認会計士より指導を受け適正な経営・運営に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域の交流を広げるための取り組みを行っている。	b	b
		24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b	
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

- ・毎年、園主催の「夏の夢コンサート」を開催し、地域の方や地域の子どもたちを招いて交流を図ったり、地域にある老人保健施設との交流を行うなど地域交流の取り組みを行っています。
- ・ボランティアの受け入れ依頼があれば受け入れますが、現在はありません。今後は、ボランティア受け入れマニュアルを整備し基本的な考え方を明文化されると良いでしょう。
- ・子育てに関する地域の必要な社会資源の情報を収集し、チラシやポスターを玄関に掲示するなど保護者や地域の人に周知し、職員には職員会議で情報を共有しています。今後は、関係機関をリスト化し定期的に連携されると良いでしょう。
- ・地域の子育て相談、講演会等園が有する機能を地域に発信されると良いでしょう。
- ・民生・児童委員を通して地域の福祉ニーズを把握し、地域の夏祭りや敬老会のイベントに園児が交流するなど、高齢者と子どもの交流や地域住民に対する相談事業を実施するなど、多様な相談に応じられると良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解を持つための取り組みを行っている。	b	b
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

- ・理念や基本方針に子どもを尊重した内容が記載され、職員全員で共通理解を深めながら取り組んでいます。人権への配慮に関する研修を実施し、研修後の報告書等作成し職員間で共通理解を図られると良いでしょう。
- ・子どものプライバシー保護、権利擁護については規程マニュアルなどに記載され職員の理解が図られていますが、今後は、プライバシーや虐待防止についてマニュアルに基づき研修を実施し、職員に周知をされると良いでしょう。
- ・入園前の説明は重要事項説明書を中心にわかりやすく説明を行うように工夫されています。月2回園見学を設けて入園希望者に案内するなどの取り組みも行なわれています。
- ・保育所転園の場合は保育要録だけでなく、保育終了後の相談方法や担当者名を記載した文書を渡すことが必要です。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b

[自由記述欄]

- ・苦情解決の仕組みは整備され、第三者委員の連絡先も含め園内に掲示されています。現在のところ苦情の事案はありません。今後は、事案が発生した場合を考慮し、苦情の受付から公表・改善までの規程を作成されると良いでしょう。
- ・保護者からは相談しやすい環境があり、相談があれば主任保育士を中心に丁寧に対応しています。今後は、苦情解決の仕組みをより分かりやすく周知されると良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	b	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b

[自由記述欄]

- ・リスクマネジメント体制を構築し子どもの安心安全を心がけています。ヒヤリハット報告、事故の事例収集を実施していますが、要因の分析や改善策を検討する取り組みはありません。今後は、職員で共有し、要因を分析し事故防止研修を行い記録に残されると良いでしょう。
- ・事故発生時の対応と安全確保についてのマニュアルが整備され、職員にも周知されています。看護師が配置されており、感染症についての情報発信などもされています。感染症が発生した場合においても看護師の指揮のもと組織として子どもの安全確保の取り組みを行っています。
- ・災害発生時対応マニュアルを整備し、災害発生時には保育通信情報システムを利用し、一斉メールによる情報発信や災害時の食料や備品などの備蓄も整備しています。
- ・不審者侵入時対応マニュアルを整備し警察の講習を受けるなど職員体制も整えています。今後は、対応マニュアルの策定に沿った具体策を講じるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	c	c
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	b
		45	② 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	c	b

[自由記述欄]

・主任保育士を中心に井ノ内保育園の保育の歩みを構築されている途中です。年間、月間、週案の各指導計画の評価・反省を見直し改善を行っていますが保育の標準的な実施方法が文章化されていません。今後は、標準的な保育の実施方法を策定して保育を行い、職員間でそれを共有・検証すると良いでしょう。

・指導計画や個別指導計画が作成されていますが、十分なアセスメントに基づいて作成されていません。今後は、保護者の意向やニーズ、子どもの状況に合わせて柔軟に対応し、アセスメントの結果から指導計画や個別指導計画を作成されると良いでしょう。

・一人一人の子どもの日々の情報を職員間で共有しています。保育の実施状況に係る記録、子どもに関する記録を管理する体制を構築されると良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	あ	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	b
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	b
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、こどもの状態に応じた保育を行っている	b	b
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	b	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a

[自由記述欄]

- ・平成30年4月より定員60名で保育を開始した為、全体的な計画は策定されず、園長を中心に保育指針の趣旨をとらえ保育計画を作成しています。職員会議で全職員参画のもと理念や保育方針に基づき、食育計画や保健計画などと連動した全体的な計画を早期に編成しましょう。
- ・園内は明るく木の香りが漂い室内は温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に整備され快適な環境を作っています。子どもたちはオープンスペースで伸び伸び遊んでいます遊びごとにコーナーを分け、畳やマットなど子どもたちがくつろいだり落ちていて過ごせるスペースなど工夫されるとなおいでしょう。
- ・一人一人の子どもの発達、家庭の状況を職員間で共有し個別指導計画を作成しています。「大きな声を出さない」「否定的な言葉を使用しない」ことを心がけ子どもの成長に寄り添いながら穏やかで安心できる環境を作っています。
- ・一人一人の発達過程に応じ無理なく基本的な生活習慣が、身につくよう対応援助しています。また、子どもが主体的に活動できるよう見守りながら生活習慣の習得を促しています。
- ・子どもたちが好きな遊びを選んで楽しめるようにいくつかのコーナを用意し、自由に絵をかいたり制作ができる環境を年齢に応じて工夫がされています。オープンスペースにおいて異年齢交流をし自発的に子ども同士が関わっています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a

[自由記述欄]

- ・0歳児の保育では人との愛着関係を重視し応答的に関わり担当制を軸に進めています。個別指導計画を基に保護者には一人一人に連絡帳で情報を共有しています。
- ・1、2歳それぞれの年齢に応じた環境作りを行い自分でしようとする気持ちを尊重し友達と一緒に遊べる楽しさを育むように保育しています。保護者とも連携を密に取り互いに子どもの成長を喜び合い子育ての相談や支援を行っています。
- ・集団の中でも子ども一人一人の気持ちを大切に、好きな遊びが十分楽しめるように遊具や様々な素材を用意し環境を整えています。開設間もないので5歳児が少なく4、5歳のクラスが混合になっていますが、5歳児は発達に応じた取り組みの中で、小学校への接続がスムーズに行える保育を実施しています。
- ・支援の必要な子どもには個別指導計画を作成し保護者と関係機関と連携支援して子どもの状態に応じた保育を実施しています。
- ・長時間保育を行う上でゆったりと過ごすスペースや異年齢合同で過ごしているためそれぞれの年齢にあった遊びの内容を考慮しています。朝夕合同保育を行っていますが、乳児の感染症対策として、部屋を分けるなどの改善を図られると良いでしょう。
- ・年間計画に小学校との接続や就学を見通した保育内容を記載しています。5歳児が小学校を訪問する機会を作り保護者には個人懇談で子どもの様子を伝え就学の不安を取り除く等見通しが持てるよう取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・看護師と保育士間で健康管理マニュアルに基づき看護師が毎朝各部屋の子ども一人一人の検温と共に健康状態の把握に努め、情報を職員間で共有し保護者へも子どもの健康管理の啓発を行っています。
- ・アレルギー疾患や慢性疾患のある子どもに対して入園時に医師からの指示書を提出してもらい看護師、保育士、栄養士間で対応をしています。献立表に除去食の必要な食材や献立をチェックし毎月保護者と共有しています。
- ・子どもたちの嗜好を考え栄養管理のできた食事を子どもたちに提供し、食べることの楽しさや喜びが分かる子になって欲しいという思いで給食調理に力を入れています。旬の食材を使用し、ランチルームで全員が食事をし、5歳児が配膳を手伝ったり、クッキングや、給食試食会、行事食など子どもたちは楽しんで給食を食べています。
- ・衛生管理マニュアルに基づき衛生管理体制を整え、子どもの嗜好や食べ方を見ながら栄養士による献立作成や調理方法を工夫し、旬の食材や季節感のある食材を使用し行事食も提供しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

- ・0～2歳児は毎日連絡帳で一日の保育の内容や子どもの体調・喫食状況を丁寧に伝えて家庭と連携を密に取り、3歳以上児は玄関の各クラスのボードで一日の活動や様子を保護者に知らせています。個人懇談、クラス懇談を行い家庭の状況にも対応しています。保護者との情報交換の内容を職員で共有理解しています。
- ・虐待防止対応マニュアルを作成し子どもの虐待事象がないか、常時、身体的情緒的チェックを行うなど早期発見に努めています。今後は、マニュアルに基づく職員研修を行い疑いのある場合は公的機関と連携を取るよう対応されると良いでしょう